徳島市民病院だより

徳島市民病院の理念
「思いやり・信頼・安心」

令和8年8月
47号

〒770-0812 徳島市北常三島町２丁目34番地 徳島市民病院広報管理室 TEL（088）622-5121（代表）

第35回 地域医療連携会 開催

7月23日にパークウェストンにおいて、第35回 徳島市民病院 地域医療連絡会が開催されました。連携施設からは86機関134名、当院からは86名と、過去最も多くの方々にご参加いただきました。

総会は日野 直樹院長の挨拶の後、地域医療連携会運営委員会で報告された当院の活動内容に関する紹介が行われました。講演会では、樫原 孝典 内科主任医長より「地域連携のリレーで診る消化器内科疾患」として、連携医の先生方からご紹介いただいた多数の症例が報告されました。次いで森根 裕二 外科総括部長より「徳島市民病院・外科の目指すもの～変わり続ける外科・変わらない使命～」として、肝胆膵領域における内視鏡手術、ロボット支援下手術を中心とした手術手技の進歩や治療戦略の変遷について説明がありました。

続いて岸 史子副院長兼臨床教育センター長から1年目の初期研修医が紹介され、出席した6名の研修医が今後の研修への抱負を述べました。診療科紹介では、各科の特色のご説明とご挨拶をさせていただきました。



講演会には森根 裕二外科総括部長と
樫原 孝典内科 主任医長が登壇

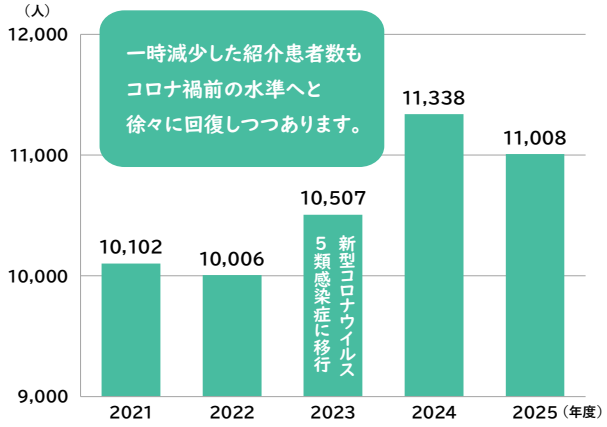


三宅 秀則病院事業管理者より懇親会開始の挨拶

懇親会は、三宅 秀則 病院事業管理者、中瀬 勝則 徳島市医師会長の挨拶の後、豊田 健二 徳島市医師会副会長の乾杯で開始されました。普段お会いする機会の少ない連携施設の皆様と直接対話を重ねることができ、顔の見える関係の構築やお互いの信頼を醸成するための大変貴重な機会となりました。会場では大いに会話が弾み、住友 正治 徳島市医師会常任理事の中締めの後も、22時過ぎまで歓談が続きました。

（副院長 山本 哲史）

当院への紹介患者数



四国三市病院長会議 行われる


会議中の様子


市立宇和島病院、高松市立みんなの病院の
皆さんとともに

四国の300床以上の市立病院（市立宇和島病院、高松市立みんなの病院、当院）の院長が一堂に会し、運営上の課題について協議する「四国三市病院長会議」が、7月31日に開催されました。この会議は年に1回、3病院の持ち回りで開催しており、本年は当院での開催です。

今回は、高松市病院事業管理者の和田 大助先生が特別に参加され、会議の冒頭で当会議の趣旨、休止状態から再開した経緯などをご説明いただき、会議の本来の目的、意義をメンバー間で再確認することができました。

会議では、限られた医療資源の中で医療体制をどのように維持していくか、今回の診療報酬改定にどのように取り組んでいるかなど、自治体病院の運営に関する様々な議題が各病院から挙げられ、それぞれの議題について各病院の現状、取組内容が紹介されました。議題に関連した他の話題においても活発な情報交換、意見交換が行われ、約90分の会議はあっという間に終了となりました。

3病院はそれぞれ地域の医療環境は異なりますが、同じ自治体病院としてよく似た課題に直面しており、課題解決に向けて様々な取組みを実施している旨を共有することができ、大変貴重な機会となりました。

（事務長　弘田 誠二）

第14回 市民病院まつり

7月18日、第14回 市民病院まつりが開催されました。

日野 直樹院長の開会の挨拶に始まり、各イベントブースは来場者の皆さんの笑顔でいっぱいになりました。今回は新しいイベントとして、消防車の展示やリラックス骨盤調整ヨガ、キッチンカーでのクレープやかき氷の販売を実施しました。コンサートでは、ブレイクダンスチーム「NEXT BGIRL」が初登場。「こんなに近くで見るのは初めて」という方も多かったであろう、迫力あるアクロバティックな動きと音楽性豊かなパフォーマンスで、会場を大いに沸かせました。

今年の病院まつりも大盛況となり、地域の方々に医療や病院の取り組みを身近に感じていただける素晴らしい機会となりました。来年度も多くの方にご来場いただけるように、引き続き円滑な運営に努めてまいります。

（医事経営課　續 敬介）


1


2


3

1. 日野 直樹院長による開会宣言 2. 華やかなバルーンアートのゲートやオブジェが来場者を迎える 3. 今年もトクシィが登場 4. あなたの筋肉量はどれくらい？ 5. 健康チェックと相談・指導を実施 6. 医療を支える工学の力 病院の「先端テクノロジー」をまるごと体験 7. NEXT BGIRL ブレイクダンスパフォーマンス


4


5


6


7

令和8年度第1回 市民公開講座

8月22日、ふれあい健康館で今年度最初の市民公開講座を開催しました。今回のテーマは「様々な病態における市民病院の取り組み」で、眼科 診療部長の西野 真紀先生から「見えにくい、それ年のせい？～知っておきたい目の病気～」、救急室 総括部長の宮本 理司先生から「徳島市民病院の救急室の紹介」、緩和ケア科 主任医長の近藤 愛貴美先生から「緩和ケア病棟の紹介」というタイトルで講演をしていただきました。



第1部から第3部まで、講師3名が講演を行い
会場は笑いあり涙ありの大盛況となった

西野先生は眼科疾患で最も身近な白内障、緑内障を中心にわかりやすく丁寧に説明され、宮本先生はユーモアを交え、実際に救急室で使用している喉頭鏡やアンビューバッグ、点滴などを聴衆に手に取っていただく工夫をされていました。近藤先生は多くの写真を取り入れたスライドで緩和ケア病棟を紹介され、さらに思い出に残る患者さんの話を柔らかな語り口調で説明され、多くの聴衆が涙ぐまれていました。


（左より）司会の福森 知治 副院長、講師の
西野 真紀 医師、宮本 理司 医師、近藤 愛貴美 医師

当日は計104名と多くの方々が参加され、笑いあり、涙ありのすばらしい市民公開講座になったと思います。「緩和病棟のイメージが100%変わりました」との声も聞かれ、徳島市民病院をより身近に感じていただける良い機会になりました。

（副院長　福森 知治）

新生児蘇生法（NCPR）講習会 開催

6月20日、21日、研修ホールにてインストラクターの小児科：市原 裕子医師の指導のもと、新生児蘇生法(NCPR)Aコース、スキルアップコースの講習会が開催されました。医師、6階病棟とNICUの助産師・看護師から10名が受講しました。

NCPRとは、出産直後の新生児に必要な蘇生対応を学ぶ研修です。当院の分娩件数は増加傾向であり、令和7年度は630名の新たな命が誕生しました。


手技を繰り返し学ぶ実技演習

今回の研修を通して、どんな時も安心・安全な出産を迎えられるように学び続ける重要性を再確認できました。今後も命の誕生の場として徳島市民病院を選んでいただいたすべてのご家族の皆様が、安心して出産できる環境づくりを目指していきます。

（9階病棟　佐藤 美紀）


参加者の皆さんと

眉誠連 阿波おどり





去る8月14日、今年も「眉誠連」として阿波おどりに参加させていただきました。

今年の「眉誠連」は日野 直樹院長をはじめとする当院職員と、その家族合わせて約80名の大所帯です。例年通り病院1階ロビーで演舞を披露した後、熱気あふれる市内演舞場に踊り込んで参りました。我々の特色のひとつは職員による鳴り物であり、今年も力強く軽快な音色で盛り上げることができました。また観覧いただいた市民の皆様には、ダイナミックな男踊り、優美な女踊りも楽しんでいただけたと思います。もちろん、一番楽しんだのは「踊る阿呆」であったことは言うまでもありません。



当院の持つ情熱・活気を存分に披露できた一日であったと自負しています。来年以降も、阿波の伝統芸能の場を通じて元気な徳島市民病院の姿を発信してまいります。

（連長　住友 弘幸）









研修医日記

臨床研修医の皆さんに、医師を目指すきっかけや印象深い経験、これからの目標についてなど自由に語っていただくリレー企画です。

初期研修医2年目の尾関 さくらと申します。私は徳島県出身で、慣れ親しんだ地元の温かい環境の中で研修を行いたいと思い、徳島市民病院で研修することを希望しました。気づけば研修が始まり1年半が経過していますが、先生方やコメディカルの方々がとても優しく丁寧にご指導くださっているおかげで、楽しい研修医生活を送っています。

徳島出身の私が徳島の中で好きな場所を一つ挙げるとすれば、大塚国際美術館です。世界中の名画が原寸大の陶板で再現されており、近づくことはもちろん触れることもできます。レプリカであるおかげで肩の力を抜いて、自分のペースで鑑賞できる点がお気に入りです。

なかでもシスティーナ・ホールは、平成30年の紅白歌合戦で米津 玄師さんが「Lemon」を歌った舞台として話題になり、大塚国際美術館に行ったことがなくてもご存じの方が多いのではないでしょうか。システィーナ礼拝堂天井画の作者ミケランジェロは、解剖について深い知識があったそうで「システィーナ礼拝堂天井画の中に脳の解剖を意識した絵がある」という説が、世間では賛否両論ながら生まれているようです。自分が中学生の時には意識もできなかった「美術のなかに潜む解剖」も楽しめるくらい、医学の知識と楽しく深い付き合い方ができたらいいなと思っています。



これからも医師として徳島の地で研修を積み、日々の診療に真摯に向き合っていきたいと思います。まだまだ学ぶことばかりですが、患者さんや先輩方から多くを吸収し、少しずつ成長していければと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

（初期臨床研修医　尾関（おぜき） さくら）

編集：徳島市民病院 広報管理室　〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34番地　TEL：（088）622-5121